労対部発

ヒートベストで冬の作業を快適に

～電熱ユニット搭載防寒ベスト～

冬の寒さ対策として、背中に電熱ユニットを搭載し身体を素早く温める『ヒートベスト』を、11月から東京土建特別価格でミドリ安全からあっせんします。

ヒートベストとバッテリーのセット販売のほか、夏に『クールファン』を購入した方はバッテリーが共通のためベスト単体での購入で使用できます。（ハイパワーバッテリーは互換性がありませんのでご注意ください）

作業環境に合わせて3段階の温度調整を行なえることに加え、今シーズンから熱線を集中させて、さらに暖かさがアップされています。

人気のある冬季限定商品のため、生産のタイミングで希望どおりの納期にならない場合もありますので、早めの注文をお願いします。

※注文は、配布済みのチラシにて直接お願いします。

足立

久々釣り大会は満員御礼
鯛の引きに大はしゃぎ

【足立・内装大工・波平久記】10月31日に九十九里海釣りセンターを貸し切り、足立支部秋の拡大月間メインイベントの「あだち釣り大会」を開催。コロナ以降、レクや集まりを自粛していたので、約2年ぶりのイベントです。

55歳以下の組合員と家族を対象に募集しましたが、80人の定員をすぐにオーバーし、114人の参加者が集まりました。例年は支部事務所からバスで会場まで向かいますが、今回は密をつくらないよう現地集合にしました。

釣り場には鯛やカンパチ、ヒラマサなど沢山の魚が放流されていて、煩悩の多いお父さんよりも純粋なお子さんたちに魚も集まってくるようです。子どもたちは鯛のすごい引きに大はしゃぎ。1匹も釣れていないお父さんもおりましたが、子どもの大物を釣っている勇姿を目にして喜ばれていました。

分会を超えて交流もしながら楽しんでもらえたので、釣り体験企画としては大成功と感じています。釣れなかった組合員さんからもリベンジしたいので来年も参加したいとお声をいただきました。

大物ゲットに思わず周囲も拍手～

多摩・稲城

親子で科学実験
コーラにメントスで…

【多摩・稲城・書記・山﨑貴博記】新型コロナ感染拡大の中で企画された「親子で楽しい科学実験教室」は、募集するなり申し込みが殺到。一瞬で定員となり、キャンセル待ちやお断りした方も多く出る程の好評ぶりに、後継者部員も自然と笑顔に。

10月24日、支部会館での開催となりましたが、休む暇なく科学ワールドを体験できる内容（科学実験ショー、食品サンプル制作、スライム製作体験）で、参加者全員が時間を忘れるほどに全集中。子どもはもちろん、大人も子ども以上に熱中していました。

特に実験ショーでは、コーラにメントスを入れると大噴出などに子どもが大はしゃぎ。食品サンプル（スパゲティー）制作では、大人が麺1本のうねり方にこだわるなどの本気モードに。スライム製作体験では、子ども、大人も後継者部員スタッフもドロドロ、ふわふわスライムに興味津々。参加した家族からは「あっと言うまの3時間でした」「科学実験ショーの時間をもっと長くしてほしい」「子どもよりも大人が真剣になってしまいました」などの好評をいただきました。

空気砲実験に参加者のテンションも上がる

杉並

138人が楽しんだ
よみうりランドBBQ

【杉並・書記・喜多正之通信員】10月31日、よみうりランドで秋の組合員交流会を開催。11月までの月間目標を達成して迎えたバーベキューに138人の組合員・家族がつどいました。希望者は格安のフリーパスで遊べるようにしてあり、午前9時の開園時間からアトラクションを楽しんだ家族もいました。

11時からのバーベキューは、大戸龍雄委員長、中村隆幸本部委員長のあいさつに続き、浅田正昭副委員長が乾杯の音頭。歓談の間に雨模様になりましたが、天幕で雨対策は充分なされており大きな問題はなく、お楽しみ抽選後、吉田康典副委員長の団結ガンバローで午後1時、閉会しました。

感染予防で席の移動はなしでしたが、昨年1月の支部旗開き以来、1年10カ月を経て全分会の仲間がともに飲み、語り合うことができました。

参加者・大島孝子さん（井荻分会）は「皆さんと久々にお会いし飲んでいたら身も心もポカポカになりました。子どもたちも久しぶりに友達に会えて楽しかったようです」と語っていました。

お楽しみ抽選の当選者に賞品を渡す大戸委員長

渋谷

パルでボウリング
金子会長「つい本気に」

皆で賞品をもらって喜ぶ参加ファミリー

【渋谷・書記・田中徹記】10月24日、渋谷支部PALの会主催のボウリング大会を笹塚ボウルで行ないました。

支部全4分会から19人が参加し、有志で参加した西部ブロックPALの仲間や本部PALの会の坂本会長の参加もあり、総勢24人での開催となりました。

ボウリングの成績結果発表を兼ねた飲食交流会では、主催者の渋谷支部PALの会・金子会長がトップのスコアとなり、「つい、勝負ごとなので本気になってしまいました」と言ってトップ賞を遠慮し、辞退しました。はじめて参加した仲間の小学生のお子さんが1番に商品をゲットしました。

この間コロナ禍という事もあり、2年近く活動ができず久々のPALの会取り組みとなり、参加した仲間からは「リフレッシュできた」「久しぶりに運動して楽しかった」など開催への感謝の言葉をいただき、大いに楽しみ盛り上った取り組みとなりました。

板橋

後継対のグランピング
家族話で盛上がる

トランポリンで大はしゃぎする子どもたち

【板橋・書記・山岸慎記】板橋支部後継者対策部主催の「親子で泊まろう楽しもう」を11月6～7日で開催。千葉県長生村にあるBUB RESORT Chosei で、グランピングを参加者26人で行ないました。

様々なアトラクションを自由に参加できるシステムで一日中（お子さんたちも夜遅くまで）楽しめる内容がウリとなっており、実際に参加者からも「大人も子どもも楽しめるアトラクションが充実していて本当に楽しかった」などの感想がありました。

夕食は全員がそろってバーベキューを行ない、楽しい交流が出来ました。普段の群会議や訪問では聞き出せないような家族の話などで盛り上がったのは一泊ならではの利点だと思いました。

翌日も子どもたちは朝から施設内を駆け回り、まだまだ遊び足りない様子でしたが、チェックアウトに合わせ、閉会式となり、「これからも様々な企画を用意していくので必ず参加してください」と訴えを行ない、グランピング企画が終了しました。